

12月定例会山脇議員の一般質問



米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

セルフネグレクト問題、子どもの歯科受診を問う

12月定例会での山脇正孝議員の一般質問（775号で既報）の続きです。2日目（12月7日）2番目に行われました。

セルフネグレクト問題の現状

することが必要だと認識しています。

Q、セルフネグレクトの実態把握できているのか。
A、セルフネグレクトとは、生活に関する能力や意欲が低下し、自分で身の周りのことなどができない状態の人と認識しています。この状態にある人は、周囲に対して援助を求められないため全体の把握は困難な状況です。こうした中、把握の方法については、地域の民生委員・児童委員やケアマネジャーなどから、セルフネグレクトの疑いのある方についての相談などにより確認しています。

口腔崩壊の現状は

Q、セルフネグレクトのひきこもりの原因は、いじめや不登校、就職先での挫折感、親子関係の歪みなど様々です。市では、若者自立ルームあおぞらや福祉政策課が相談窓口となり、本人の気持ちに寄り添った支援につなげています。
また、就労意欲がある方については、市に配置している就労支援員がハローワークへ同行し、個別の事情に応じて就労につなげています。一人一人に寄り添った支援を関係部署と連携しながら行ってまいります。

Q、口腔崩壊等の治療費は、医師が治療の必要性を認め、保険が適用される場合無料となります。
Q、歯科検診当日の欠席者は、保護者に文書を出して、受診するようお願いをした後、日程等の都合がつけば、後日学校から学校歯科医へ連れて行ったりして対応しています。不登校の児童生徒の中には、家から出るのが難しく、受診できない場合もあります。個々の状況に合わせて受診しやすい時間設定をするなどの工夫をしています。

さらに、口腔崩壊が見られる子どもの中には、家庭的な課題が心配される場合があります。学校でケース会議を開くなど個別に対応しているところです。

Q、「いきいき高齢者プラン」にも触れられていない。高齢者とのかわりについてどう考えているのか。
A、計画の中で高齢者虐待防止の推進として施策を位置付けており、それに基づき米原市高齢者等虐待防止マニュアルを作成しています。マニュアルでは、セルフネグレクトを疑われる場合は、高齢者虐待防止法に準じて、緊急性の判断、支援方針を検討し、安心して生活が送れるよう環境整備を行うこととしています。

子どもの歯科未受診対策は

Q、コロナの影響で受診が米原市でも減っている。歯科受診を促す具体的な対策は考えているのか。
A、学校での歯科検診後は、全ての学校で個別に受診勧告書を出しています。年度途中に、未受診の家庭に対しては、2度3度と文書を出したり、受診を促したりするなどの工夫をしています。多くの学校では、受診していただきやすい夏休みや冬休み前の保護者懇談の際に通知し、養護教諭や担任から保護者への声掛けを行っています。

また、各学校の保健だよりでむし歯予防や口腔内の健康を保つことの重要性について訴えています。今後は、PTA活動等で学校

Q、若年層のひきこもりがセルフネグレクトにつながる「8050問題」に至るケースが考えられるが、A、ひきこもり状態を放置すると8050問題やセルフネグレクトにつながる可能性が非常に高く、市としては、早期発見、早期対応

Q、若年層のひきこもりがセルフネグレクトにつながる「8050問題」に至るケースが考えられるが、A、ひきこもり状態を放置すると8050問題やセルフネグレクトにつながる可能性が非常に高く、市としては、早期発見、早期対応



雑感

米原市では緊急に本会議が開催され、今回の18歳以下に給付される臨時給付金は12月24日に1人10万円を支払うことになりました。ただし、高校生以上は来年1月ごろの申請・給付となります。コロナ禍で生活が厳しくなる中、子どもたちに支援が届くことを願っています。しかし、基準日が9月30日となっており、それ以後に離婚された方などは、本来の扶養者以外の方に支給される可能性があります。共産党の田村参議院議員が本来の扶養者に届くよう取り組んでいます。国では市町村の判断により本来の扶養者に支給も可能としているようです。市町村は、住民の立場に立ち更にきめ細かい対応が必要です。また住民税非課税の世帯への臨時給付金（世帯10万円）も来年1月頃の申請・給付が予定されています。